

## 18 透析患者における ACP 定着に向けての取り組み

諏訪赤十字病院 血液浄化課

斉藤有希子 穂高奈実 一ノ瀬あゆみ 森本学

### 【はじめに】

アドバンス・ケア・プランニング（以下 ACP）の普及により、諏訪市でも「諏訪市版リビングウィル」が作成された。当院、血液浄化課では 2024 年から患者・キーパーソン・看護師の 3 者による年 1 回の面談を開始し、現在の病状や懸念事項を共有している。透析患者は脳血管障害等の発症率が極めて高く、重篤化しやすい傾向にある。急な病状変化により意思表示困難になった患者への倫理的なジレンマを生じた事例を経験した。患者の意思決定能力があるうちから ACP を進める必要性を認識し、面談時に ACP を組み込み患者の価値観を共有していく取り組みを行っている。今回、透析患者の ACP に関する認識を把握し面談内容や ACP の推進に活かすことを目的とし、患者に聞き取り調査を行った。

### 【対象と方法】

意思決定能力のある透析患者 29 名に聞き取り調査を実施した。対象患者は平均年齢 65.4 歳 平均透析歴 13.8 年であった。

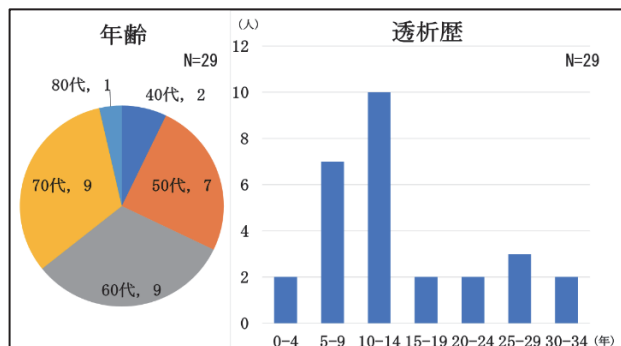


図 1：対象患者の年齢と透析歴の分布

問合せ先：斉藤有希子 〒392-0027 諏訪市湖岸通り 5-11-50

諏訪赤十字病院血液浄化課 (TEL 0266-52-6111)

### ＜聞き取り内容＞

- 1) 「ACP を知っていますか」
- 2) 「もしものことについて考えたことがありますか」
- 3) 「家族や親しい方と 2) について話し合ったことがありますか」
- 4) 「今後、面談で ACP について話し合いたいですか」

それぞれの理由についても口頭で確認した。

本調査の目的そのほかについて説明し、回答は自由意志であり拒否による不利益はないことを伝え同意を得た。

なお、当院倫理委員会の承認を得て行った。(諏訪赤十字病院倫理委員会承認番号 7-11 番)

### 【結果】

- 1) 『ACP を知っていますか』については「知っている」…3 名「知らない」…26 名であった。

知っていると回答した患者は、全腎協の雑誌・民生委員会の会議・テレビからの情報で認識していた。

- 2) 『‘もしも ‘の時について考えたことはありますか』については「考えたことがある」…28 名「考えたことがない」…1 名であった。

大半の患者が自身の今後について考えたことがあることが分かった。

- 3) 『家族や親しい方と‘もしもの時‘について話し合ったことはありますか』については「ある」…19名「ない」…10名であった。

「ない」と答えた患者は、「話しておかないと…と思うが話しにくい内容で避けてしまう」「話をするタイミングがない」「家族は興味がなさそうで、話を逸らされてしまう」など理由があげられた。

- 4) 『今後、面談でACPについて話し合いたいですか』については「話し合いたい」…18名「話し合う必要はない」…6名「わからない」…5名であった。

話し合いたいと希望した理由に「病院で透析をしているからスタッフにも知っていてほしい」「自分と家族の思いが違うので話し合いたい」「透析に関しても最期はどうするのか考えたい」

必要ないと回答した患者の中には、「自分の話したいタイミングで話をしたい」「わからないと答えた患者もおり、「家庭内でわかっているならば、もしもの時には医療者に伝わるから必要ないのでは」「残される家族が決めてくれれば自身の思いと違っててもそれで良い」「形式的な話し合いなら必要ない。信頼できるスタッフなら話したいと思う」との意見が挙げられた。

### 【考察】

ACP の認識度は低く、普及には至っていない。そのため、ACP の目的やメリットは十分に理解されていないと思われる。

透析患者は合併症や治療方針の説明を受ける中で「命」や「死」に直面する機会が多く一般の方より「もしも」について考える機会が多いのではないかと考えられる。

ACP への関心は患者各々で異なるが、多くの患者が ACP に関してキーパーソンや医療者と共有したい意向がある。しかし、「死生観」や「価値観」を話し合うことに難しさを感じる患者・キーパーソンは多く、きっかけやタイミングは必要であると考えられる。

### 【結語】

ACP については、患者・キーパーソンへ繰り返し伝える必要がある。今後、年1回の面談を通し継続的に ACP の内容を患者・キーパーソンと共有していくことで患者の意思を尊重した医療の提供につなげていきたい。

### 【COI 開示】

本論文において開示すべき利益相反関係にあたる企業等はなし。

### 【参考文献】

- 1) 透析開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言. 日本透析医学会. 透析会誌 53 : 173-217, 2020
- 2) 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン. 厚生労働省. 改正平成 30 年 3 月
- 3) 福井小紀子. 疾患・場面別アドバンス・ケア・プランニング-事例と対話で読み解く意思決定支援. 東京 : 株式会社南江堂, 2022
- 4) 西川満則、大城京子. ACP 入門 人生会議の始め方ガイド. 東京都. 日経 B P. 2024